

2018-2019 ガバナー月信

GOVERNOR'S 11 MONTHLY LETTER



BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

国際ロータリー第2510地区 2018～2019年度 ガバナー 小 山 司

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

2018-2019年度国際ロータリーのテーマ
「インスピレーションになろう」



**国際ロータリー第2510地区
 2018-2019年度地区目標**

——— 持続可能な絶え間なき変革のスタート ———

1. 組織を活性化しよう

- (1) 会員の維持、増加の推進
- (2) 女性会員の増強
- (3) クラブ役員、地区委員への若手登用の推進

2. ロータリーの認識・理解を深めよう

- (1) 会員研修の充実・強化
- (2) クラブ相互間、グループ相互間等のコミュニケーションの活発化
- (3) ガバナー月信の内容充実、電子化の推進

3. 地域社会との関わり合いを深めよう

- (1) 人道的奉仕活動の推進、ロータリー財団補助金の活用
- (2) 青少年活動の支援・強化、地域社会との連携
- (3) 広聴活動の推進

CONTENTS

●ガバナーメッセージ..... 1	●新会員のご紹介/ガバナーノミニ候補者推薦のお願い..... 18
●ロータリー財団月間に寄せて..... 3	●米山奨学生のご紹介/米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付..... 19
●地区大会を終えて..... 4	●ハイライトよねやま..... 20
●地区大会第1日目..... 5	●ロータリーコーディネーターNEWS..... 21
●地区大会第2日目..... 7	●Sergeant At Arms..... 22
●2019年度 ハンブルグ国際大会のご案内..... 8	●地区カレンダー(11月・12月)..... 23
●2018-2019年度タイ検証ツアーのご案内..... 10	●出席率・会員数..... 24
●ローターアクト第19回アジア第1ゾーン代表者会議に参加して..... 11	●文庫通信..... 25
●ガバナー公式訪問報告..... 12	

お詫びと訂正：深くお詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正させていただきます。

ガバナー月信 10月号 P.1 左側 下から3行目 【誤】1916年以降 → 【正】2016年以降



2018－2019年度地区大会の報告： 感謝の気持ちを込めて

国際ロータリー第2510地区

2018－2019年度ガバナー **小 山 司**
(札幌RC)

本年度の地区大会を10月20日、21日、札幌市で開催させていただきました。本会議を10月7日にオープン予定の札幌市民交流プラザの札幌文化芸術劇場 hitaru で開催したいとの願いから、例年より2週間ほど遅い開催となりました。幸いにも本会議、前日の記念ゴルフ大会、いずれも秋晴れのこれ以上ない好天に恵まれた開催となりました。

本大会には、バリー・ラシン国際ロータリー会長代理としてお迎えした、国際ロータリー第2610地区(石川・富山地域)のPast Governor 柳生好春様ご夫妻には、二日間にわたる地区大会のプログラム、全てにご出席いただき、最新の情報について懇切丁寧にご指導いただきましたことに深く感謝申し上げます。

ご来賓として、大変ご多用の中、北海道知事高橋はるみ様、札幌市長秋本克広様のご臨席を賜り、ご祝辞をいただきましたことに厚くお礼を申し上げます。また、国内7地区から私と同期のガバナーならびに令夫人、そして地区内外のPast Governor、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー各ご夫妻、さらにはガバナー補佐、地区役員の皆様をはじめとして地区内69クラブの会員の皆様、オール学友の皆様を含めて1,700名を

超える登録をいただきました。多数の方々のご参加のもとに素晴らしい地区大会の開催となりました。誠にありがとうございました。

去る9月6日未明、胆振地方中東部で発生した最大震度7の「北海道胆振東部地震」により、甚大な被害が発生しました。国内外の皆様から暖かい励ましのお言葉、お見舞いをいただき、心から深く感謝申し上げます。なかでも、国際ロータリー第3490地区(台湾)から姚 啟甲Past Governor を代表とする7名の会員ご夫妻が地区大会にわざわざご参加され、お見舞金を届けていただきました。参加者一同の大きな感動を呼びました。深甚の感謝を申し上げる次第です。

第一日目の会長・幹事会に引き続いての指導者育成セミナーでは、青少年奉仕活動について、元札幌西RC会員の阪崎健治朗氏による基調講演と、地区青少年奉仕委員長の西方洋昭氏が担当したパネル討論が行われ、持続可能なロータリーの理想としての青少年奉仕の意義が強調され、ローターアクト、青少年交換、RYLAの現状と課題についての理解を深めさせていただきました。誠にありがとうございました。

引き続いてのRI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会では、伊藤義郎RI元理事による歓迎のご挨拶の

後、柳生好春RI会長代理のご挨拶で開演となりました。札幌グランドホテル総料理長小泉シェフのコーディネートによる北海道の食材をふんだんに使った料理に、柳生RI会長代理ご夫妻に大変喜んでいただきました。

二日目の本会議は、オープン間もない札幌文化芸術劇場での開催でした。3層バルコニー構造の劇場で、2,302席を備え、オペラ・バレエ・ミュージカルなどの舞台劇場に対応できる北海道初の多面舞台を備えています。壇上から眺めますと、床や壁などに木材がふんだんに使われ、赤い座席椅子が鮮やかで、バルコニー席を除くとほぼ満席でした。午前の本会議のオープニングは、トワエモワによる1972年の札幌オリンピックのテーマ曲である「虹と雪のバラード」のデュエットで始まりました。プログラムになかったこともあり、サプライズと大きな感動を呼びました。その後は、物故者追悼、ご来賓紹介、大会決議案採択など順調に進行しました。

午後は、精神科医で作詞家のきたやまおさむ氏による記念講演で始まりました。演題は、「あの素晴らしい愛について」でした。浮世絵の構図研究から、日本人の親子関係などの関係性の基本に並列・一体・共視から成る一定の組み合わせパターンが見て取れるとの含蓄ある感動的な内容の講演であったと思います。その後、RI会長代理所感をいただき、成功裏に本会議を終了しました。

その後の記念懇親会は札幌グランドホテルに場所を変えて立食で行われました。参加者が多

数であったため、「グランドホール」と「金枝の間」の二カ所に分かれざるを得ませんでした。ステージのトワエモワのデュエットに記念講演のきたやま氏が加わり、会場は大いに盛り上がりました。ステージの歌声に合わせて自然と参加者の身体がスイングし、肩を組み、歌い、最後まで熱気にあふれた感動的な記念懇親会でした。

私は、この二日間の地区大会プログラムを通じて、ロータリアン同士の交流と友好の輪がさらに広がり、これからのクラブ活動や地域奉仕活動が一層活発になることを確信しました。第2510地区のロータリアンの皆様の厚い友情に心からお礼申し上げます。

最後になりましたが、地区大会のために周到な準備を進めてこられた、地区幹事の皆様、地区大会実行委員会役員の皆様、当日の地区大会の運営にあたられた札幌ロータリークラブの皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。





ロータリー財団月間に寄せて

地区ロータリー財団委員会

委員長 **丸山 淳士** (札幌真駒内RC)

ロータリー財団は100%会員の寄付によって運営されております。

全世界のロータリアンがこれに賛同し寄付を続けております。因みに寄付金額の上位5カ国はアメリカ、インド、日本、韓国、台湾の順となっています。

それぞれに寄付の特徴があり、アメリカは個人寄付では145.43ドルで日本の144.55ドルと大差ありませんが、ポリオプラス基金に対する寄付額がダントツに多くこれはビルゲイツ財団からの支援が大半を占めています。インドは個人寄付は65.45ドルと5カ国中最低なのですが、その他の基金という項目が日本の235ドルに対し6,890ドルとなっていてこの分で日本を追い抜いています。韓国、台湾は個人寄付が日本、アメリカの145ドルに対して韓国が229ドル、台湾が222ドルと日本の倍額となって、5位を占めています。

各国それぞれのお国事情によって寄付額に差が出ているところですが、日本の寄付額はロータリー

財団の組織をよく理解した上での個人個人の情熱によるものと理解され、寄付の形としては世界一のロータリー財団理解国と考えられます。

ロータリーの目に見える世界的貢献のほとんどが、ロータリー財団に依るところが大きく、新会員の増強、ロータリー活動の継続の根本を支えているように思います。

この活動を継続、支え、さらに拡大するためにも皆様のご理解を今後とも何卒よろしくお願いいたします。





地区大会を終えて

地区大会実行委員会

委員長 **勝木 紀昭** (札幌RC)

この度の地区大会のホストクラブである札幌ロータリークラブの地区大会実行委員会を代表して、皆様に感謝と御礼のご挨拶を申し上げます。去る10月20日、21日の2日間にわたり開催しました地区大会は、小山司ガバナーのもと盛大に行われました。会員及び関係各位の皆様におかれましては、ご登録並びに何かとご多用の中ご出席を頂き、誠に有難うございました。特に、RI会長代理柳生好春様ご夫妻には、石川県よりご来札頂き心から感謝申し上げます。柳生RI会長代理には、ご挨拶や貴重なお話を賜り大変勉強になりました。

1日目の地区指導者育成セミナーでは、元札幌西ロータリークラブ会員である阪崎健治朗様より「オリジナルビジョンへ」のテーマで基調講演を頂き、引き続き「ロータリーの未来ビジョン」をテーマにパネルディスカッションを行い会員にとって大変充実したセミナーとなりました。

2日目の本会議は、7日にオープンしたばかりの札幌市民交流プラザ内の「札幌文化芸術劇場 hitaru」において開催され、ご来賓として北海道知事高橋はるみ様、札幌市長秋元克広様にご挨拶を賜りました。

また、9月6日に発生した北海道胆振東部地震を受け、台湾から第3490地区姚^{ヤオ} 啟^{チー}甲^{ジャー}パストガ

バナーを代表とする7名が「北海道胆振東部地震に対するデリゲートチーム」として出席され、小山ガバナーに義援金を贈呈されました。心より御礼申し上げます。さらに、午後の記念講演では、元「ザ・フォーク・クルセダーズ」のメンバーで精神科医、作詞家のきたやまおさむ氏より「あの素晴らしい愛について」の演題でご講演を頂きました。会場からの質問にも熱心にお答え頂き大変感謝申し上げます。

最後の記念懇親会でゲストとしてお迎えしたトワエモワ如何だったでしょうか？ステージの途中きたやまおさむ氏が飛入り参加し、自身が作詞した「あの素晴らしい愛をもう一度」の歌の時は会場が一体となり大いに盛り上がったのではないかと思います。

地区大会の開催にあたり、何かと不行き届きの点が多々あったかとは思いますが、どうぞその節はロータリアンの友情と寛容の精神でお許し頂きたくお願い申し上げます。お陰様で記念ゴルフ大会から3日間にわたり開催された地区大会も天候に恵まれ、順調にスケジュールを進行することが出来ました。

改めて関係各位の皆様には感謝と御礼を申し上げます。地区大会を終えてのご挨拶とさせていただきます。

第1日目

札幌グランドホテル
金枝の間

■会長・幹事会



柳生RI会長代理



小山ガバナー

Rotary インスピレーションに
あふれる

2018-2019年度
国際ロータリー第2510地区
地区大会

北海道命名150年

第21回
2018年
10月21日(日)

第1回
2018年
10月20日(土)

■会場／札幌グランドホテル

■会場／札幌グランドホテル

ホストクラブ 札幌ロータリークラブ



受付風景

■地区指導者育成セミナー



小山ガバナー



パネルディスカッション



阪崎様



中田実行委員会幹事



久保田地区代表幹事

■RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 札幌グランドホテル グランドホール



伊藤元国際ロータリー理事



第2日目

札幌市民交流プラザ
札幌文化劇場 hitaru

■本会議



勝木実行委員長



古野ホストクラブ会長



ご来賓の皆様



姚 啟甲元国際ロータリー理事

■記念懇親会

札幌グランドホテル グランドホール



きたやまおさむ氏とトワエモワのお2人



2019年度 ハンブルグ国際大会のご案内

Aコース

国際ロータリー第2510地区2019年

ハンブルグ国際大会と現地名物料理を堪能するウィーン6日間の旅

*各レセプション・利用ホテル・航空機等につきましては変更となる場合がございます。

日次	日付	都市名	時間	交通機関	スケジュール	食事		
						朝	昼	夕
1	6月1日 (土)	新千歳空港 出発 羽田空港 到着 羽田空港 出発 フランクフルト 到着 フランクフルト 出発 ハンブルグ 到着	07:30 09:05 11:15 16:35 19:00 20:05	NH-050便 NH-223便 LH-030便 専用車	空路、羽田空港へ移動(乗継) 羽田空港到着後、国際線ターミナルへ無料シャトルバスにて移動 空路、フランクフルトへ移動(乗継) [所要時間 12時間10分/時差-7時間] 空路、ハンブルグへ移動 [所要時間 1時間05分] 着後、ホテルへ 【ハンブルグ泊】	×	機 内	×
2	6月2日 (日)	ハンブルグ	終日	専用車	※ 国際ロータリー2019年 ハンブルグ大会 参加 ※ 夜は北海道ナイト(別途、ご案内いたします) 【ハンブルグ泊】	○	×	北海道 ナイト
3	6月3日 (月)	ハンブルグ 出発 ウィーン 到着	15:15 16:45	OS-174便	ホテルにて朝食 ハンブルグ観光(市庁舎・倉庫街・聖ミハエル教会 など) 昼食はレストランにてドイツ料理(シーフード) [所要時間 1時間30分] 到着後、専用車にて夕食へ(オーストリア料理) 【ウィーン泊】	○	○	○
4	6月4日 (火)	ウィーン	終日	専用車	ホテルにて朝食 ベルベデーレ宮殿、オーストリアギャラリー、ケルトナー通り、ミラベル庭園、旧市街を観光 ダス・ロフトにてウィーンの街一望しながらのご昼食 ミハエル広場周辺で自由散策(高級ブランド店街でショッピング) シェーンブルン宮殿(グラントゥアー)観光後、市内レストランにて夕食 【ウィーン泊】	○	○	○
5	6月5日 (水)	ウィーン 出発 フランクフルト 到着 フランクフルト 出発	18:10 19:35 20:45	LH-1241便 NH-224便	ホテルにて朝食(Bコースの方とはホテルより別行動となります) 美術史博物館と歴史地区を観光後、ウィーンのカフェ文化を体験 昼食は市内レストランにて昼食、グララーベン周辺で自由散策 空路、フランクフルトへ移動(乗継) [所要時間 1時間30分] 空路、羽田空港へ移動(乗継) 【機内泊】	○	○	機 内
6	6月6日 (木)	羽田空港 到着 羽田空港 出発 新千歳空港 到着	14:55 17:00 18:30	NH-053便	[所要時間 11時間10分/時差+7時間] 着後、入国審査・税関検査を済ませ国内線ターミナルへ無料シャトルバスで移動 空路、新千歳空港へ移動 新千歳空港到着後、解散です。	機 内	-	-

※NH:全日空 / LH:ルフトハンザドイツ航空 / OS:オーストリア航空

※ご注意 / 発着時間、交通機関などは変更になる場合がございます。航空機の便名、時刻は予定です
○:食事付 ×:食事なし

■募集人員/40名様 ■最少催行人員/20名様

■添乗員/同行いたしません(現地ガイドが対応いたします)

■利用予定航空会社/NH:全日空 LH:ルフトハンザドイツ航空 OS:オーストリア航空

■利用予定ホテル/ハンブルグ:メルキュールホテルハンブルグシティ(4つ星)

ウィーン:ラディソンブルパークロイヤル(4つ星)

(上記ホテルまたは同等クラスのホテル)

*ご夫婦参加の場合、1ベッドになる場合があります。ご了承ください

*ハンブルグのホテルは変更になる場合がございます

*ハンブルグのホテルが変更になった場合は旅行代金も変更の場合がございます

■食事条件/朝食4回・昼食3回・夕食2回(北海道ナイト・機内食は除く)

(オプションツアー6月4日実施)シェーンブルン宮殿VIPコース(夕食・送迎付)

[コース料理の夕食とミニクラシックコンサート8名様より催行 ¥35,000円]

■旅行代金(エコノミークラス2名1室)

499,800円

お一人部屋追加代 140,000円

ビジネスシート追加料金 650,000円

Bコース

国際ロータリー第2510地区2019年

ハンブルグ国際大会と現地名物料理を堪能するウィーン・ブタペスト8日間の旅

*各レセプション・利用ホテル・航空機等につきましては変更となる場合がございます。

日次	日付	都市名	時間	交通機関	スケジュール	食事			
						朝	昼	夕	
1	6月1日(土)	新千歳空港 出発 羽田空港 到着 羽田空港 出発 フランクフルト 到着 フランクフルト 出発 ハンブルグ 到着	07:30 09:05 11:15 16:35 19:00 20:05	NH-050便 NH-223便 LH-030便 専用車	空路、羽田空港へ移動(乗継) 羽田空港到着後、国際線ターミナルへ無料シャトルバスにて移動 空路、フランクフルトへ移動(乗継) 空路、ハンブルグへ移動 着後、ホテルへ	[所要時間 12時間10分/時差-7時間] [所要時間 1時間05分] 【ハンブルグ泊】	×	機内	×
2	6月2日(日)	ハンブルグ	終日	専用車	※ 国際ロータリー2019年 ハンブルグ大会 参加 ※ 夜は北海道ナイト(別途、ご案内いたします)	【ハンブルグ泊】	○	×	北海道ナイト
3	6月3日(月)	ハンブルグ 出発 ウィーン 到着	15:15 16:45	OS-174便	ホテルにて朝食 ハンブルグ観光(市庁舎・倉庫街・聖ミヒャエル教会など) 昼食はレストランにてドイツ料理(シーフード) 到着後、専用車にて夕食へ(オーストリア料理)	[所要時間 1時間30分] 【ウィーン泊】	○	○	○
4	6月4日(火)	ウィーン	終日	専用車	ホテルにて朝食 バルベデーレ宮殿、オーストリアギャラリー、ケルトナー通り、ミラベル庭園、旧市街を観光 ダス・ロフトにてウィーンの街一望しながらのご昼食 ミヒャエル広場周辺で自由散策(高級ブランド店街でショッピング) シェーンブルン宮殿(グランドツアー)観光後、市内レストランにて夕食	【ウィーン泊】	○	○	○
5	6月5日(水)	ウィーン ブタペスト	午前 午後	専用車 専用車	ホテルにて朝食(Aコースの方とはホテルより別行動となります) 駅へ移動(大きな荷物はウィーンホテル等で保管いたします) レイルジエット(1等車)にてブタペストへ移動 ブタペスト到着後、市内観光 壮麗なゴシック様式のマーチャーシュ教会、 白い石灰石でできた幻想的な漁夫の砦 夕食後、ホテルへ	【ブタペスト泊】	○	○	○
6	6月6日(木)	ブタペスト ウィーン	午前 夜	専用車 専用車	ホテルにて朝食 終日、ドナウバント観光 ブタペストから船でセントンドレへ 芸術家が集まるドナウバントの玄関口セントンドレ観光 ハンガリーを代表する陶芸作家コヴァーチ・マルギットの美術館 専用車にてウィーンへ移動(約4時間) 夕食後、ホテルへ	【ウィーン泊】	○	○	○
7	6月7日(金)	ウィーン 出発 フランクフルト 到着 フランクフルト 出発	18:10 19:35 20:45	LH-1241便 NH-224便	ホテルにて朝食 美術史博物館と歴史地区を観光後、ウィーンのカフェ文化を体験 昼食は市内レストランにて昼食、グラーベン周辺で自由散策 空路、フランクフルトへ移動(乗継)	[所要時間 1時間30分] 【機内泊】	○	○	機内
8	6月8日(土)	羽田空港 到着 羽田空港 出発 新千歳空港 到着	14:55 17:00 18:30	NH-053便	着後、入国審査・税関検査を済ませ国内線ターミナルへ無料シャトルバスで移動 空路、新千歳空港へ移動 新千歳空港到着後、解散です。	[所要時間 11時間10分/時差+7時間] 【機内泊】	機内	-	-

※NH・全日空 / LH・ルフトハンザドイツ航空 / OS・オーストリア航空

※ご注意 / 発着時間、交通機関などは変更になる場合がございます。航空機の便名、時刻は予定です
○:食事付 ×:食事なし

■募集人員/40名様 ■最少催行人員/20名様

■添乗員/同行いたしません(現地ガイドが対応いたします)

■利用予定航空会社/NH:全日空 LH:ルフトハンザドイツ航空 OS:オーストリア航空

■利用予定ホテル/ハンブルグ:メルキュールホテルハンブルグシティ(4つ星)

ウィーン:ラディソンブルパークロイヤル(4つ星)

ブタペスト:メルキュールブタペストブタホテル(4つ星)

(上記ホテルまたは同等クラスのホテル)

*ご夫婦参加の場合、1ベッドになる場合があります。ご了承ください

*ハンブルグのホテルは変更になる場合がございます

*ハンブルグのホテルが変更になった場合は旅行代金も変更の場合がございます

■食事条件/朝食4回・昼食3回・夕食2回(北海道ナイト・機内食は除く)

(オプションツアー-6月4日実施)シェーンブルン宮殿VIPコース(夕食・送迎付)

[コース料理の夕食とミニクラシックコンサート8名様より催行¥35,000円]

■旅行代金(エコノミークラス2名1室)

619,800円

お一人部屋追加代 210,000円

ビジネスシート追加料金 650,000円

【お問合せ先】(申込期限 平成30年12月25日(火))

株式会社近畿日本ツーリスト北海道 札幌法人旅行支店
札幌市中央区北3条西2丁目2-1 日通札幌ビル6階
TEL:011-251-0011 FAX:011-251-3630
担当者:柴田・千葉 (お問合せ後、申込書を送ります)

北海道ナイトのご案内

参加料金15,000円~20,000円(予定)
開催日時6月2日(日)18:00~20:00(予定)
開催場所未定(後日ご案内いたします)

旅行代金に含まれない主なもの

※燃油サーチャージ・空港税(2018/9/03現在63,480円)
※旅程に示されていない交通費や宿泊費、飲食代(超過手荷物料金)
※個人的費用(電話、クリーニング代、追加飲食代など)

2018-2019年度タイ検証ツアーのご案内

2018-2019国際奉仕・VTT委員会

委員長 谷口 正樹

(滝川IRC)

今年度、「国際奉仕・VTT事業の検証ツアー」の日程が決定しましたのでご案内いたします。
日程表およびツアー申込書は各クラブへ郵送いたします。クラブを通して申し込みください。

【2018-2019 2510地区国際奉仕・VTT委員会 タイ検証ツアー ご日程表】

旅行期間：2019年1月27日(日)～1月31日(木) 5日間

設定人数：25名様 予定

一次締切：11月20日(火)迄にお申込み願います。

日数	日付	都市名	時間	交通	スケジュール	朝	昼	夕
1	1月27日(日)	千歳空港 バンコク バンコク ウドンタニ	発 着 発 着	10:00 15:50 18:10 19:15	TG671 TG2008 専用車	タイ航空にてバンコクへ タイ航空にてウドンタニへ 空港よりホテルへ ノンカイ 泊		機内 ○
2	1月28日(月)	ノンカイ	発		専用車	終日：国際奉仕事業検証 ノンカイ、ポンピサイ周辺 ウドンタニ 泊	○	○ ○
3	1月29日(火)	ウドンタニ	発		専用車	終日：財団・VTT事業検証 ブンカーン、ノンカイ中心部周辺 コンケン 泊	○	○ ○
4	1月30日(水)	コンケン コンケン バンコク バンコク	発 発 着 発	18:45 19:45 23:55	専用車 専用車 TG2049 TG670	終日：国際奉仕事業・財団事業検証 アムナットチャロエン周辺 専用車にて空港へ タイ航空にてバンコクへ タイ航空にて千歳へ 機内 泊	○	○ ○
5	1月31日(木)	千歳空港	着	08:20			機内	

※上記は9月10日現在の予定です。航空会社・検証先の都合で変更になる場合もございますのでご了承下さい。

【予定費用】 お一人様 195,000円 + 15,000円(空港諸税・燃油費用) 合計 210,000円(予定)

【費用内容】 航空費用：タイ航空：千歳-バンコク(往復) エコノミークラス
タイ航空：バンコク-ウドンタニ(片道)、コンケン-バンコク(片道)
宿泊費用：標準クラス 1室1名又は、2名利用(現地施設の事情により異なりますのでご了承下さい)
現地費用：滞在中の食事(朝3回、昼3回、夜4回)、バス、現地ガイド費用
空港諸税：千歳空港、バンコク空港、空港諸税、燃油費用、出国税(9月現在で変動あります)

【旅行解除】 ご出発の41日前迄の解約につきましては費用はかかりません。

ご出発の40日前～15日前迄は旅行代金の30%、14日前～3日前迄50%、前日・当日は全額

【旅行企画】 2510地区国際奉仕・VTT委員会

【旅行手配】 (株)産経海外旅行

札幌市中央区北1条西7丁目 TEL:011-271-5388 FAX:011-271-5621 斉藤、矢田目



ローターアクト第19回アジア 第1ゾーン代表者会議に参加して

国際ロータリー第2510地区ローターアクト
地区幹事 **石川 樹**

9月15日に岩手県盛岡市で開催された「第19回アジア第1ゾーン代表者会議」に、高橋地区ローターアクト副委員長、小野寺地区ローターアクト代表とともに参加してまいりました。

アジア第1ゾーン代表者会議（以下「ゾーン会議」という。）は、北海道、東北、関東の一部の地区が集まり、全国ローターアクト研修会のホスト地区選出や各地区との情報交換、交流を主な目的として開催され、当地区でも直近では2017年9月にホストを務め、札幌市で開催した経験があります。

当地区からは、2021年3月に当地区がホストを務める予定の「第33回全国ローターアクト研修会」の準備に係る進捗状況について小野寺地区代表から報告し、いくつかの地区から質問や意見等を頂戴しました。先般の実行委員会で「アクト1,000人計画」という合い言葉を掲げ、本会議でもお伝えしたところ、かなりの反応がありました。インパクトという面ではかなり効果がありましたが、今後実際に1,000人規模の参加者を集めるために、当地区の会員でさらに知恵を出し合っていきたいと思えます。

その後の懇親会では各地区の皆様と地区の状況

について意見交換したり、全国ローターアクト研修会のホストを務める2700地区（福岡）や、2760地区（愛知）の方々と情報共有や準備に係る経験談等を話すことができましたので、今後の当地区の準備に活かしていきたいと考えております。

さて、改めまして、当地区では2021年3月に札幌市にて開催予定の「第33回全国ローターアクト研修会」のホストを務める予定で、これまで経験したことのない大規模な行事であることから、当地区の大きな課題である会員増強等と併せて益々努力していく所存です。今後、様々な場面でロータリアンの皆さまからお力添えをいただくことが多々あるかと思えますが、その際はぜひ当地区ローターアクトの趣旨にご理解いただき、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※今回本会議で報告させていただいた資料や報告書は、当地区ローターアクトのホームページ (<https://rid2510rac.jimdo.com/>)に掲載しております。お時間のある時にぜひご覧ください。



ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますので、ご了承ください。

登別ロータリークラブ

8/22(水)

平成30年8月22日(水)、小山司ガバナー、斎藤正史ガバナー補佐、鈴木高士ガバナー補佐幹事の3名をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。

午後3時半に登別市役所でお迎えをして教育長表敬訪問(市長療養中の為)からスタート致しました。

その後、午後4時から会長・幹事懇談会を開催致しました。懇談会では石井憲一会長より当クラブの現状を報告させていただいた後、会員増強における諸問題等クラブ運営における助言をいただきました。

次に午後5時からクラブ協議会を開催し、出席者の自己紹介を行った後、今年度の活動計画について各委員会から説明を行い、小山ガバナーから示唆に富んだアドバイスをいただきました。中でも「会員増強には世代交代のための世代間連携が大事である」とのアドバイスがとても印象的でした。

引き続き午後6時から行いました夜間例会での小山ガバナーの卓話は30分きっちりとお話しいただき、ガバナーのお人柄が感じられました。内容は日本のロータリーの魁である東京RCが設立されてから100周年に当たる事と黄金の鐘のお披露目、日本ロータリークラブの先行き、そして、ポリオプラスの現状と今後の事などを丁寧に話されました。懇親会は、チャーターメンバーも含めて和やかに楽しんでいただきました。

当クラブをご訪問いただき深く感謝申し上げますと共に、お身体に御留意されますように会員一同心よりご祈念申し上げます。



当別ロータリークラブ

8/28(水)

2018年8月28日、小山ガバナーの公式訪問を終えました。今年はガバナーのお迎えの仕方、会場設営、SAAの対応、各委員会からの説明の点について「基本に忠実に」を心掛けました。きちんとできたかどうかはわかりませんが、基本に立ち返る機会となりました。

小山ガバナーからはいくつかヒントをいただきました。研修担当のバスターガバナーに卓話していただく、留学生を招いての交流会を開く、当別とゆかりのある地区との交流を行う、などご提案いただいたので、できるところから積極的に取り組みたいと思います。

実は当別町の歴史は伊達藩(岩出山伊達氏)から始まっています。先日、伊達市(亙理伊達氏)を訪れた際にガバナーのアドバイスに触発され伊達男爵の迎賓館を見てまいりました。他にも当別とゆかりのある町はありますので今後ともそれらの町のロータリークラブに関心を高めたいと思います。



小樽銭函ロータリークラブ 8/30日

8月30日(木)、小山司ガバナー、高橋哲雄第6グループガバナー補佐をお迎えし、小樽市銭函の和風レストラン銭函大山においてガバナー公式訪問が開催されました。午前10:30より坂口会長、石丸幹事、上村直前会長、笈川クラブ奉仕委員長の4名が出席し、銭函クラブの会員の現況や奉仕活動などを報告し、地域の動向や主な産業など情報交換をしながら終始和やかな雰囲気の中で会長・幹事懇談会が実施されました。

その後のクラブ協議会においては、クラブ奉仕委員会委員長の笈川会員、例会運営委員会の小松会員、会員親睦委員会の白澤会員、会報委員会の佐々木会員、職業奉仕委員会の河崎会員、社会奉仕委員会の松倉会員、国際奉仕委員会の濱田会員、青少年奉仕委員会の上村会員、ロータリー財団委員会の白澤会員、SAA委員会の笈川会員より委員会報告と本年度の事業報告を行いました。

小山ガバナーからは、「クラブ運営のキーとなるのは委員会活動だと思います。貴クラブは少人数で委員の重複も避けられない状況ですので責任が重いかもしれませんが、クラブ運営の主たる位置を占めているのは委員会であり、ロータリーを学び理解する基本となるものですから、3ヶ月に一度は各委員会を開催して、企画・アイデアを持ち寄って協議をして頂きたい。ロータリーを学びの場として頂きたい、という事を再度認識して本年度の事業を遂行して下さい。」というお言葉を頂き委員会活動の重要性を再認識いたしました。

小山ガバナー、高橋第6グループガバナー補佐、ご多忙の中誠にありがとうございました。



札幌真駒内ロータリークラブ 9/12日

前週の6日に平成30年胆振東部地震が発生し、直前の公式訪問が中止された中、当クラブ会員が無事だったこと、開催ホテルでも最大限の対応をしていただけることを確認し、予定を変更することなく小山ガバナー、関堂ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問の日を迎えることが出来ました。会長・幹事懇談会では会長より、特に今年度は会員増強に力を入れていること、女性会員率が28%であることなどをお話させていただきました。その後のクラブ協議会では各委員長より活動計画を発表し、ガバナーから講評をいただきました。当クラブらしい運営と奉仕活動がなされていること、また地区委員になっている会員もおり地区への貢献に対して労っていただきました。例会では、日本ロータリー設立100周年記念の鐘をご紹介いただき、ロータリーの精神、ロータリーを知るためにはロータリーを楽しむ「入って学び、出でて奉仕せよ」が大切であること、今後のロータリークラブの課題等多岐にわたり貴重なお話を伺うことが出来ました。小山ガバナーのお人柄にふれ、とても意義のある楽しい時間になりました事に心より感謝申し上げます。



札幌はまなすロータリークラブ 9/18(木)

第2510地区中、41番目の公式訪問として、小山ガバナー、中村ガバナー補佐を、はまなすクラブ会員一丸となっております。

「組織を活性化しよう」をはまなすクラブの根幹テーマに致しまして現会員の維持と会員増強を目標に推し進めるべく「会員増強特別委員会」を理事（新設）として、活発に活動しております。

10月より1人の会員加入に繋がりました。クラブ運営の活性化、活発化には会員数が30人～40人、そして若い世代の会員が肝要であると、小山ガバナーよりアドバイスを賜りました。我がはまなすクラブの現況にとりましては、大変に厳しい事であるのは悲しい。しかしながら、今年度のはまなすクラブの目標に向けて、「親睦」と「奉仕」は、創立以来車の両輪のごとく活動をして参りましたので継続して楽しいクラブ運営を目指したいと思います。

「100周年記念ロータリーの鐘」の素晴らしい音色を楽しむ事が出来ました。感謝です。



新札幌ロータリークラブ 9/19(水)

9月19日(水)、例会場であります ホテルエミシア札幌において、小山司ガバナー、関堂勝幸ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

午前10時から会長・幹事懇談会が行われ、当クラブより、南部会長、後藤幹事、大石会長エレクトが同席しクラブの現況、活動状況などを報告し和やかな雰囲気の中で懇談が行われました。

その席で小山ガバナーよりロータリークラブ会員減少に伴う日本のゾーン再編のお話から会員増強の必要性、特に女性会員の必要性、増強方法の具体例等のご指導をいただきました。

また、11時からのクラブ協議会では各委員長より活動目標及び活動報告が発表されました。その中で当クラブで行っている社会奉仕活動に関して評価をいただきました。

12時30分からの例会においては新入会員である、東さえこ会員、川崎貴憲会員への会員バッジ授与を行っていただき兩名にとってはとても名誉な事でありました。卓話の前にはガバナーにご持参いただいた100周年記念ロータリーの鐘を南部会長が点鐘させていただきました。その後ガバナーよりポリオ撲滅についてのお話や改めて会員増強のお話、2018-2019年度国際ロータリーの目標や第2510地区の目標についてご指導いただきました。終始、小山ガバナーのもたれる穏やかな雰囲気の中、例会を終えることができました。

最後に全員でガバナーを囲み記念写真を撮影し公式訪問を終了しました。

平成30年北海道胆振東部地震後のハードなスケジュール中での訪問、心より感謝申し上げます。



千歳セントラルロータリークラブ 9/25(火)

9月25日(火)、小山司ガバナーと齋藤茂生第7グループガバナー補佐をグランテラス千歳にお迎えして「ガバナー公式訪問」が開催されました。例会に先立ち午前10時に会長・幹事懇談会、11時からは理事メンバーを含めてのクラブ協議会を開催しました。冒頭当クラブ菅原百合子会長よりクラブの紹介を行い、ガバナーからは当クラブが創設以来行っている米山梅吉記念館への訪問・墓参、RI会長賞の10年連続受賞、女性会員割合が約20%であること等にお褒めを頂きました。また各理事からは担当の活動内容について説明し、ガバナーからはご経験に基づくアドバイスを頂戴し、とても有意義な懇親の場となりました。

12時からは全会員と共に昼食をとっていただき、12時30分からの例会では、現在のRIの現状をはじめポリオ撲滅運動や会員増強状況等、今後の日本のロータリーが進むべき方向性などについての卓話を頂戴しました。また100周年記念ゴングをご持参され会員にご披露して頂きました。会員にとって大変有意義な時間となりました。ありがとうございました。



恵庭ロータリークラブ 9/26(水)

9月26日、小山ガバナー・齋藤ガバナー補佐をお迎えし、今年度のガバナー公式訪問が行なわれました。

会長・幹事懇談会は大変和やかな雰囲気の中で有意義な会議を行なう事が出来、その後のクラブ協議会では各委員長より今年度の事業計画並びに方針を発表致しました。

全員での昼食後に例会を開催し、小山ガバナーより日本ロータリー100周年の鐘についてや100年の歴史について、更には国際ロータリーの創立時の事から北海道の開拓に関わる事などを詳細にご講話頂きました。先人達のたゆまぬ努力に恥じぬよう、これからもロータリー精神を継承して行かねばならないと改めて考える、貴重な機会となりました。

また、当クラブの永年に亘る青少年交換事業及び米山奨学生への取り組みや、幅広い年齢層のメンバーが円滑に交流し会員増強にも意欲的である事などを高く評価して頂き、今後の活動への大きな励みとなりました。

失礼も多々あったかと思いますが、ガバナーより頂戴した助言と激励を糧とし、これからもロータリー活動に益々力を入れて参りたいと思います。



札幌西北ロータリークラブ 9/27(木)

去る9月27日(木)小山司ガバナー、中村和雄ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。

午前10時からの会長、会長エレクト、幹事との懇談会では、創立以来「明るく、楽しく、出席しやすいクラブ」をモットーに掲げ、親睦と奉仕に努めていること、活発な親睦活動や同好会活動、三角山清掃登山・四阿整備や大通公園植栽など、地域に根ざした活動について報告させていただきました。また、今年度の取り組みである、『RCの価値と魅力の再確認と共有』『より充実した例会と委員会活動』『会員増強』についてお話をさせていただきました。

引き続き午前11時からのクラブ協議会では、各委員長の活動方針を報告、小山ガバナーから会員増強等のご指導をいただくなど、充実した協議会となりました。

例会におきましては、小山ガバナーより、RI第2510地区の日本ロータリー100周年記念の貴重なゴングをお持ちいただき、お話を聞かせていただきました。最後に小山ガバナー、中村ガバナー補佐を囲みメンバー全員で記念写真を撮影し、公式訪問を終了しました。



蘭越ロータリークラブ

10/1回

10月1日(月) 小山司ガバナー、高橋哲雄ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問例会が開催されました。午前10時から会長・幹事懇談会が行われ、昨年50周年を迎えた当クラブの歴史や現在9名の会員で行われている活動状況、今後の方針についてお話しさせていただきました。また、引き続き行われたクラブ協議会では各委員長より今年度の活動計画の発表と現状を報告させていただき、小山ガバナーからは少人数での活動に対するねぎらいと、会員増強へのアドバイスなど各委員長へ大変ご丁寧な講評をいただきました。

12時15分からの例会では、2020年に日本のロータリークラブが100周年を迎えるに当たって、2510地区に送られた「創立100周年の鐘」をお持ちいただき、志比川会長により鐘の音を聞かせていただきました。

小山ガバナーからは、ロータリーの歴史や国際ロータリーの現状、日本ロータリークラブの現状と今後についてと、今年度の地区目標について分かりやすくご講話いただき、ロータリアンとしての意識を新たにする機会となりました。尚、ガバナー公式訪問例会出席率は100%でした。



小樽ロータリークラブ

10/2回

10月2日(火) 小山司ガバナー、高橋哲雄ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問を実施いたしました。10時から会長・幹事懇談会では当クラブの会長・幹事と次期会長合わせて3名で懇談をさせていただき、小樽RCの現状等について津田会長より報告させていただいた後、小山ガバナーからは各RCの現状やアジア地区のグループ再編、クラブ内での人材育成などにつきお話をいただきました。11時からのクラブ協議会では、各委員会の委員長より自己紹介を兼ねて事業計画と進捗状況等を発表し、その後小山ガバナーより講評及びボリオに関する現状報告、最後にお褒めの言葉をいただき、終始和やかな雰囲気の中でクラブ協議会を終了いたしました。

クラブ例会では、小山ガバナーから物腰柔らかな話し方で会員に向けた卓話をいただき、日本にはじめてロータリークラブが出来てから100周年を迎えるにあたり作られた「ロータリーの鐘」が披露されました。また、津田会長とは職業柄、接点も多く、会員は親しみをもちながら小山ガバナーの方針を十分に感じ取ることができました。

小山ガバナーにおかれましては、お体にご留意され、残りの公式訪問をはじめ年度内全ての事業が無事に終了されますことをご祈念申し上げ、公式訪問の御礼とさせていただきます。小山ガバナー誠にありがとうございました。



余市ロータリークラブ

10/3回

10月3日(水)、小山ガバナー、高橋ガバナー補佐をお迎えしまして、ホテル水明閣にてガバナー公式訪問を開催致しました。

午前10時からの会長・幹事懇談会では、高橋会長よりクラブの特徴や現状報告をさせていただきました。当クラブの課題である会員増強について、小山ガバナーから、「地域の特徴を考慮し、果樹観光やワイナリー、漁業関係者など余市ならではの職業分類の分野から会員拡大を検討してはいかがでしょうか?」というアドバイスをいただきました。また、午前11時からのクラブ協議会では、各委員会より今年度の計画、そして進捗状況を説明させていただきました。小山ガバナーからは福祉団体とのりんご狩りや水泳大会、サマージャンプ大会など地域内の様々な団体との長年にわたる社会奉仕事業に対して評価をいただきました。その後の例会では、ガバナーからロータリーの歴史をはじめ多岐にわたり有意義なお話を聞かせて頂き、例会終了後、記念撮影をし、大変有意義な公式訪問を終えました。小山ガバナー、高橋ガバナー補佐ご訪問ありがとうございました。



岩内ロータリークラブ

10/4(木)

10月4日(木)、小山司ガバナー、第6グループ高橋哲雄ガバナー補佐をお迎えして、公式訪問が開催されました。午前10時からの会長・幹事懇談会では、会長より岩内ロータリーの特徴として全会員20名の内訳を具体的に説明いたしました。企業出向者・入会3年未満を除くと会長・幹事を特定の会員が繰り返し何度も経験するという実情につきまして、小山ガバナーより現在10名以下のクラブが3クラブ存在すること、安定数としては30名以上を目指すこと等を具体的にアドバイスいただきました。午前11時からのクラブ協議会では各委員長より状況説明、その後小山ガバナーより講評がありました。岩内ロータリーは各方面の実力者が揃っている為の利点と欠点があること、また会員増強においては広報活動も積極的にするべきであるとの見解をいただきました。会員数の増加はありませんが、40歳代若手が増加傾向にあることや女性会員がメンバーに居ることも含めて期待をしていただきました。午後12時30分からの例会ではかつての岩内ロータリー本間哲衛チャーターメンバーとの思い出もお話下さり、歴史の重みと先人達への感謝を感じる例会となりました。お忙しい中貴重な御時間をいただき本当に有り難うございました。



札幌手稲ロータリークラブ

10/6(土)

平成30年10月6日(土)、小山司ガバナー及び中村和雄ガバナー補佐(当クラブ会員)を迎えての公式訪問がありました。

会長・幹事懇談会では、池田会長から当クラブの特色・活動内容の説明が行われた後、小山司ガバナーから、「ロータリー杯争奪西区・手稲区中学校スポーツ大会」、「高校生奨学金」等の継続事業が意味深いものであるとの賛辞をいただきました。また、「札幌の食文化の再発見」としてのそば店やフランス料理店での移動夜間例会や「カーリング体験&観戦」の活動は、他のクラブにはなく、面白く興味の持てる企画である旨のお言葉をいただきました。

クラブアッセンブリーでは、各奉仕委員会から本年度の活動計画の報告を受け、小山司ガバナーから、活動内容が高尚で、他のクラブの訪問の際に紹介させていただきたいとのお褒めをいただき、また、会員増強については、会員数の増加だけではなく、質(活動内容)を重視していただきたいとのご教示をいただきました。

例会での卓話では、ポール・ハリスのニューイングランドでの生育環境が、ロータリーの設立・運営に影響を与えている旨の興味あるお話をされました。また、当クラブの本年度のテーマである「新次代につなげよう親睦と奉仕」にちなんで、ロータリー活動を次世代につなげる責務があることのご指摘がなされました。

当クラブへの小山司ガバナーの公式訪問は、極めて有意義であったとともに、小山司ガバナーの人柄が良く分かりました。心より感謝申し上げます。



新会員のご紹介

(敬称略)



新札幌RC
川崎 貴憲
9月12日入会
広告代理



新札幌RC
東 さえこ
9月12日入会
英語教育



札幌北RC
小田 忠
10月1日入会
電気工事



札幌北RC
真室 潤一
10月1日入会
塗装工事



札幌はまなすRC
半澤 浩定
10月2日入会
人材派遣



苫小牧RC
廻 修史
10月5日入会
証券業



恵庭RC
八重樫 聡
10月17日入会
口腔外科医

2021-2022年度 ガバナーノミネー候補者推薦のお願い

地区ガバナー **小山 司**
地区ガバナー指名委員長 **嵯峨 義輝**

2021-2022年度地区ガバナーノミネー候補者として適格な会員が在籍しており、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナーノミネー資格条件については、国際ロータリー細則第16条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第14条（ガバナーの指名と選挙）
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
（1998-1999年度地区年次大会決議第8号）

米山奨学生の紹介 YONEYAMA SCHOLARSHIP



日本での生活

高 芸焯
(中国)

北海道大学大学院環境科学院・滝川IRC

私は、中国の日本語学院で日本語を学ぶ中で、日本の文化や自然の魅力に強く惹かれてきました。大学卒業後は、さまざまな国籍の人との交流や協力を深めるとともに、環境問題とその解決法について学ぶという夢を叶えるため、北海道大学大学院環境科学院の修士課程に留学することに決めました。

大学院では、気候変動がもたらす未曾有の洪水が、河川とその周辺の生態系に与える影響について研究しています。研究の傍、日本や海外の小中高校と連携しながら、若い人たちに自然環境保全の大切さを伝えています。そのような中、ありがたいことにロータリー米山記念奨

学生に選ばれ、ご支援をいただいています。おかげで経済的な不安もなく、研究にいっそう集中して取り組んでいます。また、趣味の旅行やロータリアンとの文化交流など、日々の生活も充実させながら、日本社会や文化の学びも深めています。

研究は順調に進んでおり、来年3月に卒業します。修士論文の成果は、3月に日本生態学会で発表予定です。在学中は日本人や留学生と交友を深め、日本文化の魅力を楽しみたいと思います。卒業後は、研究や文化交流を通して得た知識や経験を生かし、社会や自然環境保全に貢献したいと思います。

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

江別RC	八島 壯之	会員 (4回)	9月21日
札幌北RC	出村 知佳子	会員 (2回)	9月14日
札幌北RC	斉藤 昌一	会員 (2回)	9月25日
札幌北RC	草間 孝廣	会員 (2回)	9月25日
札幌北RC	栗原 清昭	会員 (2回)	9月25日
札幌手稲RC	石川 信行	会員 (1回)	9月14日
札幌手稲RC	山本 雅章	会員 (2回)	9月14日
札幌南RC	佐藤 源五郎	会員 (14回)	9月21日
札幌南RC	稲津 亘	会員 (2回)	9月21日
札幌南RC	嶋津 博	会員 (2回)	9月21日

札幌南RC	大谷 莊佐	会員 (2回)	9月21日
札幌南RC	網野 泰文	会員 (3回)	9月21日
札幌南RC	伊藤 清	会員 (3回)	9月21日
札幌南RC	佐藤 嘉一	会員 (3回)	9月21日
札幌南RC	三浦 義昌	会員 (3回)	9月21日
札幌南RC	中道 博	会員 (3回)	9月21日
札幌南RC	山本 勤	会員 (3回)	9月21日
札幌南RC	朝妻 邦雄	会員 (5回)	9月21日
苫小牧東RC	平田 幸彦	会員 (1回)	9月26日

米山功労クラブ

札幌南RC (45回) 9月21日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌手稲RC	山本 雅章	(1回)	9月20日
札幌南RC	松家 治道	(4回)	9月14日
苫小牧東RC	児玉 和雄	(2回)	9月26日
苫小牧東RC	菅野 嘉一	(2回)	9月26日
苫小牧北RC	伊藤 竹雄	(8回)	9月26日

ポール・ハリス・フェロー

札幌手稲RC	石川 信行	9月20日
札幌手稲RC	松澤 勇	9月20日
札幌南RC	堀元 雅司	9月14日
札幌南RC	村山 圭一	9月14日
札幌南RC	渡邊 宙	9月14日



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

2018.10.12

ハイライトよねやま

Vol.223

10月は
米山月間

台湾米山学友会から災害義援金が届きました

9月上旬、日本列島は台風21号と北海道胆振東部地震に相次いで見舞われ、各被災地のインフラは大きな打撃を受けました。台湾米山学友会では9月8日の役員会にて、全会一致で募金活動を決定。約3週間で28万6,500元(約105万円)を集めました。この義援金は、当会を経

由して、第2660地区と第2510地区に送られる予定です。同学友会の呉憲璋理事長は「今回の台風と地震による被害に我々は皆、大変驚き、直ちに募金を開始しました。台湾米山会一同、一日も早い被災地の再建と復興を心より祈っております」とのメッセージを寄せてくれました。

よねやま親善大使の紹介DVDが完成

今年7月に任命された第3代よねやま親善大使の紹介動画と、それを収録したDVDが完成しました。動画は、当会ホームページの『米山奨学会紹介ビデオ』のページから視聴できます。また、DVDをご希望の方には無料でお送りします。



すでにさまざまな地区の米山記念奨学セミナーなどに、よねやま親善大使をスピーカーとしてお招きいただき、ご好評を得ています。

よねやま親善大使の招へいをご希望の際は、米山記念奨学会事務局・広報担当までご連絡ください。

寄付金速報 — 米山月間へのご協力をお願いします —

9月までの寄付金は前年同期と比べて4.6%減(普通寄付金:0.06%減、特別寄付金:9.9%減)約1,850万円の減少となりました。

前年同期は、当財団設立50周年の記念寄付を多くいただいていたために上記の減少額となりましたが、7月からの累計額としては2014~

2016年度並みで、順調に推移しております。皆さまからのご寄付に深く感謝申し上げます。

10月は米山月間です。日本のロータリーがつくり育てた独自の米山記念奨学事業を、引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

「紺綬褒章」の公益団体認定を受けました

このたび、当会は内閣府賞勲局より、公益のために私財を寄付し功績顕著なる方々へ授与される「紺綬褒章」の公益団体認定を受けました(平成30年9月12日付)。これにより、本年9月12日以降、個人では500万円以上、法人・団体等は1,000万円以上を当会にご寄付いただき、定められた条件を満たす場合に、紺綬褒章授与申請の対象となります。

ご寄付を複数回に分けて分納される場合も、あらかじめお申し出をいただいた場合には、申請の対象となります(分納期限の制限はございません)。詳しくは米山記念奨学会事務局までお問い合わせください。

※認定日(平成30年9月12日)以前のご寄付については申請の対象外です。分納分に含めることもいたしかねます。何とぞご了承ください。

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター 2018年11月号 NEWS

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■「マイロータリーを活かす」

第2ゾーンの公共イメージ・コーディネーター就任に当たって、この3月にエバンストンで3日間の研修を受けた。世界の各地から44名のロータリーコーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーター、公共イメージコーディネーターが同時に参加した。朝の9時から夕方までのハードな研修であったが、一つ強く印象に残っていることがある。研修の流れはガバナーエレクトの国際協議会でお馴染みの全体会と分科会が交互に行われるものであった。

その分科会の各セッションで扱う様々な設問に対してファシリテーターは必ず導入部分で「この問題の解決にあたって、リソースに何がありますか?」と異口同音に語ったのである。以来、私が所属する第2610地区のRLIのセッションでその質問を用いてみた。確かに問題解決にあたってリソースを意識することは基本的かつ大切なことと思われる。参加者の挙げるリソースの中に、ガバナー、パストガバナー、RI理事、元RI理事、クラブ会長、元クラブ会長、ガバナー補佐、地区委員長などの人的リソースがあったが、全ての参加者が挙げたのはマイロータリーであった。それ位世界のロータリーにおいてマイロータリーは情報ツールとして認知されている。

しかるに日本においては決して有効に活用されているとは言えない。残念ながら私が所属する第2610地区は10%(今年7月の登録率)を切っている。その中であって40%を超える地区が4地区存在する。高い順に挙げると第2530地区(48,95%)、第2660地区(46,94%)、第2750地区(43,48%)、第2820地区(40,24%)である。因みに、バリー・ラシン会長は登録率60%を目標として掲げられている。

今、ロータリーは以下の3つの質問に答えることが求められている。「ロータリーとは何か」、「ロータリーは他の団体とどこが違うのか」、「ロータリーはなぜ必要なのか」である。

どれもロータリーの存在理由を明らかにする根源的な問いかけである。一見難しく思える問いであるが、マイロータリーを覗いていると一応答えらしきものが浮かんでくるから不思議である。会員登録率アップに向けてガバナー始め地区指導者の一層のご理解と推進をお願いする次第である。

第2ゾーンロータリー公共イメージコーディネーター 柳生好春(野々市RC)

■「BE THE INSPIRATION」

本年度、バリー・ラシンRI会長は会長テーマとしてBE THE INSPIRATION(インスピレーションになろう)を掲げられました。

世界大会の帰路、成田空港で見たのは下の写真です。「インスピレーションになろう」は日本語として理解しにくいですが、既に、いろんなところで使われていることが解かりました。

あわせて、次のとおり新ビジョン声明が発表されました。

「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

ロータリーは組織でありますから、企業体と同様に理念、目的、目標があります。ロータリーの目標は戦略計画であります。

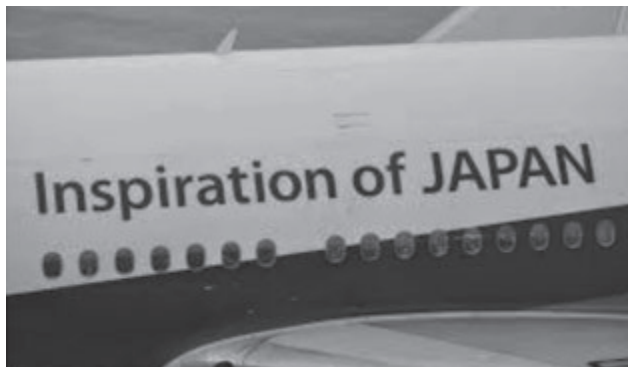
- 1 戦略計画には、根幹をなす、ミッション・ビジョン・バリューがあります。
- 2 新ビジョンは戦略計画において、ロータリーが未来に実現しようとする、なりたい、ありたい姿です。
- 3 ミッション(任務)は、私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために
- 4 バリュー(共通価値観) 人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

以上のように分けて考えたほうが理解し易いと思いますがどうでしょうか

持続可能な良い変化については、イアンH・S. ライズリー前RI会長の言葉が参考になります。

持続可能な奉仕とは、ロータリーの直接的な参加が終了した後も、その活動が長期的に良い影響を与え続けることを意味します。ポリオを撲滅することは、持続可能な奉仕の中で究極のものです。

新ビジョンを理解し戦略計画を持っていることは、変化に対応し、未来の計画を立てる上で大変重要です。クラブ、地区がロータリーの戦略計画に沿った目標を立てそれを推進していくことが会員の積極性、満足度を高める事になります。



第2ゾーンロータリーコーディネーター 補佐 剣田廣喜
(高山中央RC)

(写真の説明)

Inspiration of JAPANの意味は、日本的なおもてなしの心とか、礼儀正しいサービスとか、先進の技術とか、そういう日本の良さを強調したいようです。特に海外では「ANA」だけだと、どこの国の会社か分からない人もいますので、日本を強調したいようです。

ロータリー探訪



Sergeant At Arms

第2510地区職業奉仕委員長

玉井 清治

(函館亀田RC)

職業人の集まりであるロータリアンは毎日、自分の事業所にて会社経営や専門職に真剣に取り組んでおります。そのため喜怒哀楽が激しいのも当然でしょう。例会場には色々な心の状況の人達が集まってきます。そんな中、親睦の中で奉仕のエネルギーを形成出来るように保つためには色々な現場即応の作業が必要です。精神的に参っている人もいれば、体の具合の悪い人もいるでしょう。いろんな人が集まっているその状況を良く見て、その例会の秩序を維持する為の現場の最高責任者の事をS.A.A (Sergeant At Arms) というのであります。これは中世宮廷社会に於いて作られた名前です。イギリスでは皇宮警察の署長に当たります。

宮廷ですから、いろんな行事が行われるときに、そこにおでましになる人たちの中には外国の国王もいらっしゃるでしょう。国内のVIPも沢山集まって来るでしょう。そういうお偉い人たちの会議の目的を達成させる為に、様々の状況を判断して現場の秩序を維持する最高の判断権者の事をSergeant At Armsと言ったのであります。ですから、ロータリーのあらゆる会合において、会場の秩序を保つための最高の権限を持った役員というわけです。最近ではアメリカ上院と下院に置かれている守衛官もSergeant At Armsといえます。

私が調べたところによると、SAAが正式な役職として定められたのは1906年で、ポール・ハリス、マックス・ウォルフ、チャールズ・ニュートンがシカゴクラブの最初のSAAに就任したという記録が残っております。審議機関としての権限しか持っていない理事会メンバーを超越した、例会場における最高の権限を持つ執行機関の役員であり、その役割の重要性を考慮して、会長経験者が就任するのが慣例のようです。具体的な職務内容は、議事の進行、会場への入場や退場、会場の開門や閉門、早退、遅刻の承認や拒否、私語に対する警告、会合プログラムの時間管理、例会場の秩序管理、例会場の設営、座席の指定、食事の手配等があげられます。この会合とは例会だけではなく、クラブ協議会やクラブフォーラムを含みます。ただ、これだけ多くの職務をSAAひとりではこなすには無理があるので、補助役として副SAAを置くのが普通です。SAAと副SAAとの数は、クラブ会員数の10%が必要だといわれています。よくSAA委員会という表現をする人がいますが、これは間違いです。会議の進行と時間管理の権限を持っているため、SAAが例会の司会をしているクラブも多いようですが、SAAが司会役を勤めなければならないという規約はありません。

60%ルールを掲げて、権利として退席する会員に「この例会は、あなたと仲間の人格を形成するための大切な時間です。ありますから、最後まで居ていただく事が本来であります。もし、どうしても退席の必要がある方は申告していただきたい。その必要性を検討したうえで、退席の許可をすることにいたします」これくらいのことが言える勇気がある方が、SAAでしょう。「それでは君はいえるのか?」と言われれば私も言えません。そうです! テーブル中央に文書で掲げてみてはいかがでしょうか。

本来、社交クラブというのは出てもよし、出なくてもよし、途中退席も自由であるべきものです。ロータリークラブもまた社交クラブであります。しかもロータリークラブは各会員の主体性を十二分に尊重する事を目的にクラブ組織を維持するものであるのに、会員の途中退席を阻止することは不法監禁に当たりはしないかという反論があるかも知れません。人間の行動の自由を法律上正当な理由なくして、強制的に一定の場所のなかに放り込んだ場合には刑事罰が科され、民事上も損害賠償の請求をされるかもしれません。誰か帰ろうとするのを、他のロータリアンが「だめだよ」とこの人を捕えたとすると不法監禁罪が成立します。しかし、SAAだけは例外です。ロータリー運動の本体として、決められた例会出席を守るところにロータリー運動の神髄がある以上、SAAがその秩序を守る最高の責任者として、途中退席を禁止することには不法監禁は成立しません。刑法第35条によって、「法令又は正当な業務による行為は、罰しない」とあります。従ってSAAがやった場合だけは不法監禁罪は成立しません。SAAの権限は、このように絶対でありますから、その判断は臨機応変で柔軟でなければならないと思います。「退席は駄目ですよ。しかし、お手洗いですよネ!」なんてウインクしながら途中退席を許可するのも乙ではありませんか。

こういう判断力を与えられているのはSAAだけではありません。こういう人が理事会に席を持つことが自分が個別具体的な判断をするときにプラスになるかどうか疑問です。理事会に席を持つと一般原理の拘束を受ける事になります。SAAはその責務が重い故に理事会に席をもつことなく、政策決定などにかかわらないほうが、ロータリーの現場の機能をよりよく守る事が出来るのではないかと、私は個人的に思います。ロータリークラブ定款では「会場監督も役員であるが、細則の定めるところに従って、理事会のメンバーとすることができる」とあります。皆様のクラブでもSAAの立ち位置を話し合ってみてはいかがでしょうか。

地区カレンダー(11月・12月)

11月 ローターリー財団月間	
1(木)	公式訪問(岩見沢RC)
2(金)	
3(土)	文化の日
4(日)	
5(月)	
6(火)	公式訪問(苫小牧北RC)
7(水)	
8(木)	公式訪問(札幌東RC)
9(金)	
10(土)	次期ガバナー補佐会議(札幌)
11(日)	
12(月)	
13(火)	公式訪問(札幌西RC)
14(水)	
15(木)	公式訪問(苫小牧東RC)
16(金)	
17(土)	
18(日)	ロータリー財団地域セミナー(神戸)
19(月)	第1回ガバナーノミニー研修セミナー(神戸) 第2回ガバナーエレクト研修セミナー(神戸) 第2回ガバナー会(神戸)
20(火)	ロータリー研究会(神戸)
21(水)	ロータリー研究会(神戸)
22(木)	
23(金)	勤労感謝の日
24(土)	
25(日)	
26(月)	
27(火)	公式訪問(栗山RC)
28(水)	
29(木)	公式訪問(江別RC)
30(金)	

12月 疾病予防と治療月間	
1(土)	
2(日)	
3(月)	
4(火)	
5(水)	公式訪問(札幌RC)
6(木)	
7(金)	
8(土)	
9(日)	
10(月)	
11(火)	
12(水)	
13(木)	
14(金)	
15(土)	
16(日)	
17(月)	
18(火)	
19(水)	
20(木)	
21(金)	
22(土)	
23(日)	天皇誕生日
24(月)	振替休日
25(火)	
26(水)	
27(木)	
28(金)	
29(土)	
30(日)	
31(月)	

2018年11月のロータリーレート

1ドル 112円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2018.7.1	2018.9.30	増減	内女性	
1	深 川	3	33	33	0	2	86.37
	羽 幌	2	46	46	0	2	83.70
	妹背牛	4	7	7	0	0	89.28
	留 萌	3	33	33	0	3	75.76
	小 計		119	119	0	7	83.78
2	赤 平	3	27	27	0	2	80.28
	芦 別	3	31	31	0	2	74.71
	砂 川	4	40	40	0	1	97.29
	滝 川	3	93	96	3	4	72.00
	小 計		191	194	3	9	81.07
3	美 唄	2	26	26	0	0	92.16
	江 別	3	32	33	1	1	82.83
	江別西	4	30	30	0	4	86.60
	岩見沢	2	74	78	4	0	99.35
	岩見沢東	3	17	17	0	2	83.82
	栗 沢	3	19	19	0	1	97.90
	栗 山	3	25	28	3	5	85.18
	当 別	3	27	29	2	0	90.38
	小 計		250	260	10	13	89.78
4	札 幌	3	121	130	9	2	97.31
	札幌はまなす	3	16	17	1	2	71.00
	札 幌 北	2	40	41	1	4	83.49
	札幌モーニング	3	34	33	-1	0	80.15
	札 幌 西	2	50	51	1	9	76.42
	札幌西北	2	34	34	0	3	77.30
	札幌手稲	2	37	38	1	4	89.19
	小 計		332	344	12	24	82.12
5	札 幌 東	2	125	125	0	0	96.12
	札幌清田	2	13	13	0	4	100.00
	札幌幌南	2	66	67	1	9	95.18
	札幌真駒内	3	23	25	2	7	100.00
	札 幌 南	2	88	92	4	2	97.70
	札幌大通公園	2	14	14	0	4	57.14
	新 札 幌	3	25	27	2	5	78.61
小 計		354	363	9	31	89.25	
6	岩 内	2	20	20	0	1	85.37
	倶知安	3	36	37	1	4	69.50
	小 樽	4	71	74	3	5	81.02
	小樽南	3	65	61	-4	4	79.22
	小樽銭函	3	22	22	0	1	84.20
	蘭 越	2	9	9	0	0	95.00
	余 市	4	43	43	0	6	81.90
小 計		266	266	0	21	82.32	

9 月 出 席 率 ・ 会 員 増 減 数	クラブ数	69クラブ
	期首会員数	2,544人
	当月末会員数(女性)	2,618人(177人)
	増加会員数	74人
	当月平均出席率	80.76%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2018.7.1	2018.9.30	増減	内女性	
7	千 歳	2	69	76	7	9	81.50
	千歳セントラル	2	39	41	2	8	73.17
	恵 庭	4	49	52	3	3	76.67
	北 広 島	2	16	16	0	0	71.43
	長 沼	2	17	17	0	3	76.47
	由 仁	2	7	8	1	1	51.00
	小 計		197	210	13	24	71.71
8	え り も	2	17	20	3	1	100.00
	三 石	2	13	13	0	0	70.00
	様 似	3	17	17	0	1	74.51
	静 内	3	72	72	0	5	82.33
	浦 河	2	26	28	2	3	71.00
	小 計		145	150	5	10	79.57
	9	伊 達	3	64	65	1	1
室 蘭		4	32	34	2	2	76.47
室蘭東		4	34	37	3	3	70.30
室蘭北		4	46	47	1	2	77.68
登 別		4	25	25	0	1	84.00
洞 爺 湖		2	9	9	0	0	88.80
小 計		210	217	7	9	78.93	
10	函 館	3	76	83	7	1	76.65
	函館亀田	1	43	43	0	4	78.57
	森	3	35	35	0	0	67.60
	七 飯	3	12	12	0	0	72.20
	長 万 部	1	10	10	0	0	50.00
函館セントラル	4	23	23	0	2	79.10	
小 計		199	206	7	7	70.69	
11	江 差	2	10	10	0	1	60.00
	函館五稜郭	2	54	56	2	0	80.07
	函 館 東	4	45	45	0	8	70.46
	函 館 北	2	16	19	3	0	86.11
	北 斗	4	12	12	0	0	58.30
小 計		137	142	5	9	70.99	
12	白 老	3	30	30	0	3	82.50
	苫小牧	3	59	62	3	3	77.14
	苫小牧東	4	27	27	0	5	86.11
	苫小牧北	3	28	28	0	2	92.30
	小 計		144	147	3	13	84.51
合 計		2,544	2,618	74	177	80.76	

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数13名(内女性会員6名)を含む

文庫通信 (373号)



ロータリー文庫は日本のロータリー50周年記念事業の一つとして、1971年11月に公開された皆様の資料室です。日本のロータリーは2020年に100周年を迎えます。

今回は1920年東京ロータリークラブ発会から約50年間の日本のロータリーの歴史の中でいくつかの資料をご紹介します。特にロータリーの友、ロータリー文庫、米山記念奨学会については発足当時を記述した資料を選びました。これらの中から日本のロータリーの歴史の新たな発見があり、皆様の今後のロータリーライフに生かされることを願います。

日本のロータリーの歴史より

◎「温故知新 ロータリーの今昔」

遠藤 健三 D.263 [1987] 7P ※

◎「〈座談会〉ロータリー文庫について」

ロータリー文庫 [1987] 27p ※

◎「ロータリー米山記念奨学会史〈第一章〉」

米山記念奨学会 [1992] 31p ※

◎「日本ロータリー史(1920~1970)」

直木 太一郎 [1971] 37p ※

◎「日本ロータリー再建の頃」

ジョージ R. ミーンズ (元RI事務総長) [友1976/9月~] 27p ※

◎「満州におけるロータリー運動の展望」

佐々木 孝三郎 19p ※

◎「朝鮮に於けるロータリーと第10年次大会を回顧して」

佐々木 孝三郎 11p ※

上記 ※印はデジタル化されている資料です。

[上記申込先：ロータリー文庫]

*資料の検索は文庫ホームページから <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



表紙写真

札幌市 札幌市中央区 中島公園の紅葉

撮影者：野口観光ホテルプロフェッショナル学院・
北海道文教大学外国語学部国際言語学科
講師 今野 哲郎

Rotary
District2510

